



14	<b>【有害化学物質】</b> ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)		事業活動で使用する化学物質について、22の関係法令に対応した「化学物質管理ガイドライン」を定め、適正管理を実施。	3.9	6.3	11.6	12.4					
----	---	------------	--	--	-----	-----	------	------	--	--	--	--	--



27	行	<p>【サプライチェーン管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる</li> </ul>	<p>チャレンジ (任意)</p>			<p>サプライヤー行動規範にて規定しており、行動規範が全従業員に浸透するよう、書面での誓約を行うとともに定期的に教育・啓発を実施。主要サプライヤーを対象に適切にスクリーニングおよびモニタリングする体制も構築中。</p>				5		8	10	12	13	14	15	16	17
28		<p>【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している</li> </ul> <p>■パートナーシップ構築宣言サイト：<a href="https://www.biz-partnership.jp/">https://www.biz-partnership.jp/</a></p>	<p>基本 (必須)</p>			<p>「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。</p>	3			8	9	10							17



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権の尊重に関する取り組み：たばこ葉に関する耕作労働規範の導入		全ての葉たばこの直接契約農家を対象に「児童労働の防止・撲滅」「労働者の権利の尊重」「安全衛生」に関する事項を制定すると共に、労働慣行を推進。								8									17
人権の尊重に関する取り組み：ARISE（児童労働撲滅に向けたプログラムの実施）		2011年にILOおよびNGOの協力のもと、児童労働撲滅プログラムを開発。子供たちの学校教育の支援、コミュニティ住民への啓発、政策・経過立案。								8									17
地域社会・地域経済への貢献：たばこの不法取引の撲滅に向けた取り組み		関係当局との対話を進め違法なたばこ製品の製造及び流通等に関する情報交換を行い、不法取引の減少に対する取り組みを支援することに数億ドル。																16	17

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
  - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
  - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定